

# 広島市植物公園 見どころ案内

## ミナ・ロバータ

(ヒルガオ科)

咲き進むと赤から橙、黄、白と変化します。こう見えてもアサガオの仲間です。

## タコノアシ

(タコノアシ科)

東アジアに分布し、河川の湿地に生育する多年草です。花や草姿がタコの足に似ていることからこの名がつけました。晩秋に紅葉します。準絶滅危惧種に指定されています。

## チャノキ

(ツバキ科)

葉はお茶の原料になります。刈り込みに耐えるので生垣としても利用されます。ツバキに似た白い小さな花を咲かせています。

## コスモス

(キク科)

花の迷路がずいぶん賑やかになりました。これからも花数が増えてきます。

## ベニマンサク

(マンサク科)

別名マルバノキ。紅葉が始まりました。

## カリン(実)

(バラ科)

実をつけています。

さんばがわふゆざくら

## 三波川冬桜

(バラ科)

ヤマザクラとマメザクラの交配種。一重咲きで薄い桃色の花をつけています。

## サルビア‘イエローマジスティ’

(シソ科)

草丈2m以上になり、秋に黄色い目立つ花を咲かせます。葉に甘い香りがあります。

## 私の好きな花たちの写真展

園内に咲く可憐な花を撮影し、展示しています。  
[10月29日(木)まで展示資料館1階展示室にて開催]

## タチバナモドキ(実)

(バラ科)

果実がミカン科のタチバナに似ていることから名づけられています。黄色い実をつけています。

## トキワサンザシ(実)

(バラ科)

花は4~5月に咲き、11月頃に赤い実をつけます。翌年の1月ぐらまで実が残っています。タチバナモドキの実の黄色との対比が綺麗です。

## カラタチ(実)

(ミカン科)

鋭い棘があることから、生け垣に昔は使われることもあり、温州みかんの台木などにも使われています。果実は果実酒などに使われています。

## アリストロキア・ギガンテア

(ウマノスズクサ科)

ブラジル原産のつる性低木。つるを天井に向かって長く伸ばし、巨大な赤褐色の花をぶら下げています。白っぽい風船のようなものは蕾(つぼみ)です。

## ハンキングバスケット

カスケード壁面に3つの巨大ハンキングバスケットがあり、セロシア、ユーフォルビア、ストラビランテスなどを使い、秋バージョンに美しく彩りました。

[日本ハンキングバスケット協会 ハンキングバスケットマスター作]

